

3. 小学生以上の子どもの居場所づくり

【市民意向調査等からみた現状と課題】

- 子どもの放課後・休日の過ごし方 …………… p.34
- 子どもの遊び場 …………… p.35

【取組の方向性】

- 子どもの集まる場(=遊び場)の必要性 …………… p.36
- 遊び場としての児童館のあり方の検討 …………… p.36
- 既存の施設を利用した地域の遊び場づくり …………… p.37
- 既存の施設を利用した中高生の居場所づくり …………… p.38
- 子どもが悩み等を相談しやすい体制づくり …………… p.39

【市民意向調査等からみた現状と課題】

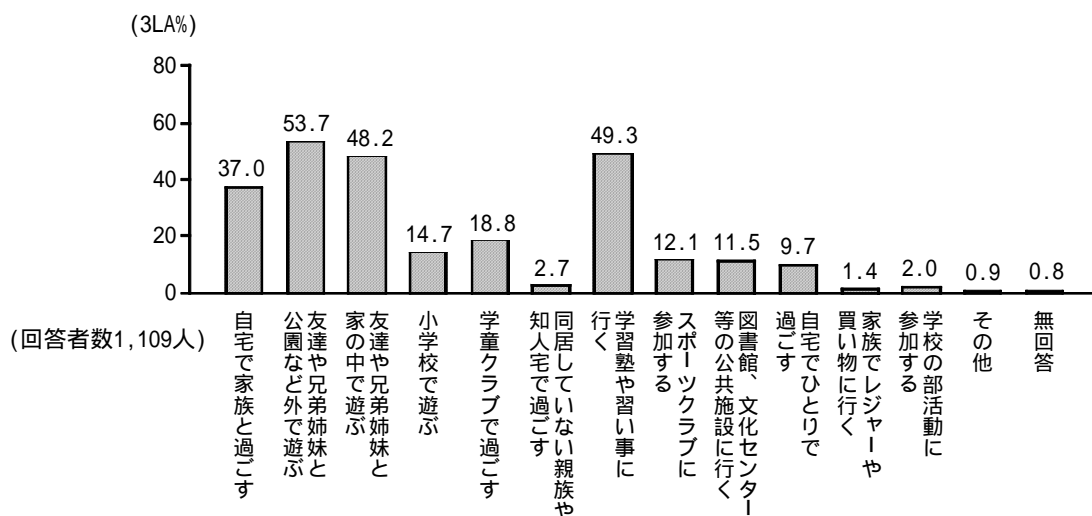
子どもの放課後・休日の過ごし方

市民意向調査で「小学生の平日の放課後の過ごし方」について主なもの3つまでを回答してもらったところ、「友達や兄弟姉妹と公園などで外で遊ぶ」は53.7%でした(図表36)。

また、小学生の約半数が平日の放課後に多い過ごし方として「学習塾や習いごとに行く」を挙げており、小学生にとって塾などが平日の放課後の主な居場所の一つとなっていることがわかります(図表36)。

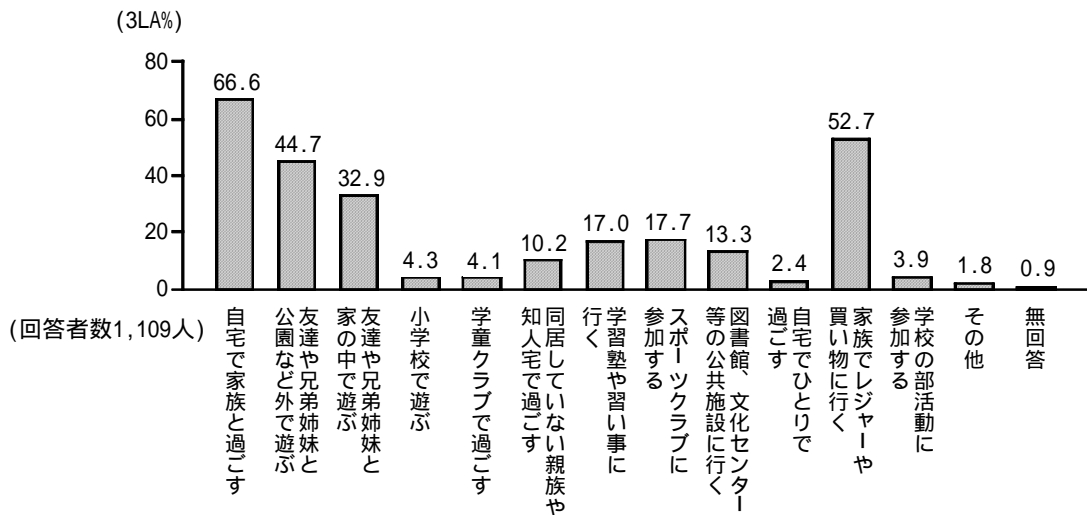
土曜日や日祝日については、「自宅で家族と過ごす」や「家族でレジャーや買い物に行く」といった回答が多く挙がっており、家族と過ごすことが多いようです(図表37)。

図表36 平日の放課後の過ごし方(小学生)



注・3LA%:回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合

図表 37 土曜日の過ごし方(小学生)



注：・3LA%：回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合

子どもの遊び場

府中市には、地域における屋内の子どもの遊び場として、「文化センター(児童館)」があります。

市民意向調査で「小学生の文化センターの利用状況」について尋ねたところ、88.4%が「利用したことがある」と回答し、文化センターの子ども向け講座等についても57.8%が「参加したことがある」と回答しています。

児童館がある文化センターは、高齢者など他の世代も利用する複合施設となっています。市民意向調査の自由回答では、子どもが遊べる場として文化センターとは別に児童館を設置して欲しいという要望があるほか、建物の老朽化等の改善など施設設備面に関する意見がありました。

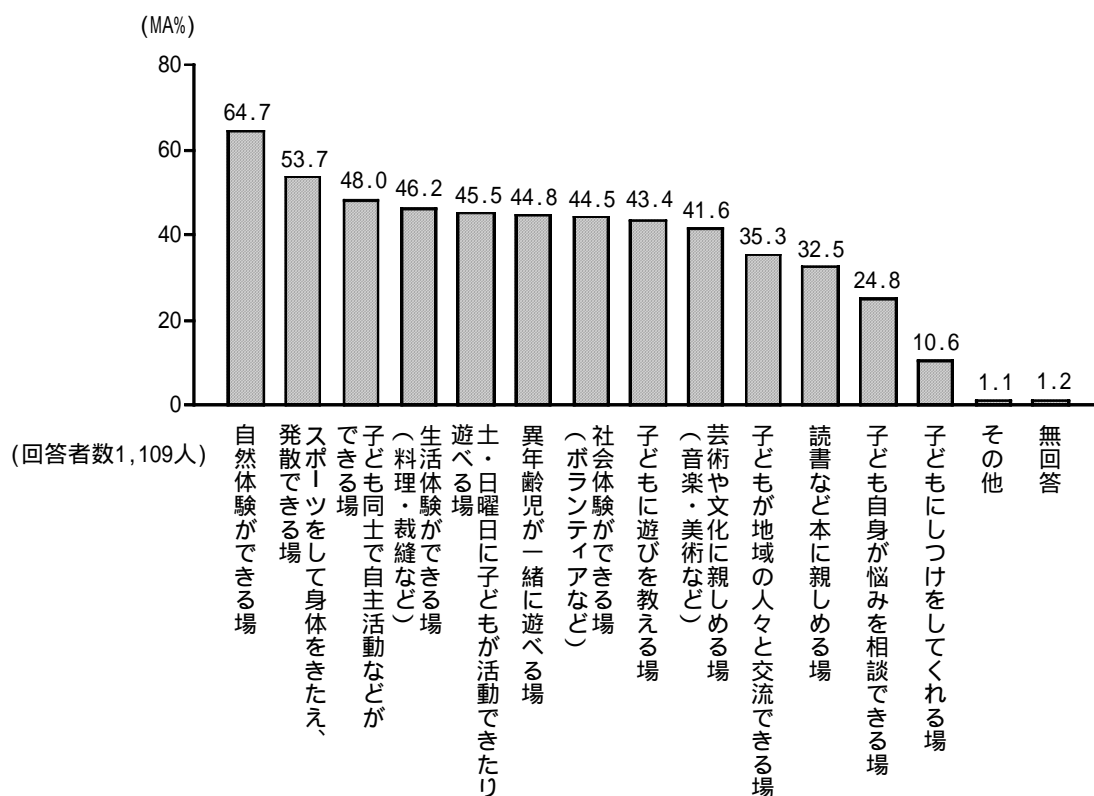
そのほか、様々な体験ができるようなプログラムの開発と提供、講座における障害児への配慮、申込方法の簡便化など気軽に参加できる仕組みづくりなどについての意見・要望がみられました。

文化センター以外にも、学校の校庭や体育館、スポーツ施設など小学生等の子どもの遊び場となりうる施設がありますが、必ずしも遊び場として有効に利用されている状況ではありません。

府中市には公園が多くありますが、市民意向調査の自由回答では、公園の安全点検や清掃等に関して改善を求める意見や公園に出没する不審者を不安がる声がみられました。また公園利用の規制も多いので、子どもたちの遊び場として十分に機能していないという意見があります。

市民意向調査で「地域で子どもが集える場としてどのような機能を期待するか」を尋ねたところ、「自然体験ができる場」、「スポーツをして身体をきたえ、発散できる場」、「子ども同士で自主活動などができる場」など、自然体験や社会体験、仲間づくりなど、子どもがそこで様々な体験をして交流も楽しめることを求めていることがわかりました(図表 38)。

図表 38 地域で子どもが集える場についての要望(小学生)



注：MA%：回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合

【取組の方向性】

子どもの集まる場(=遊び場)の必要性

最近では、子ども自体の数が少なくなっており、また子どもの生活も放課後は多くが塾や習い事に通っているなどして、なかなか子ども同士で遊ぶ機会がないように思われます。子どもが自然と集まる場・空間を、意図的に作っていく必要があるのではないかと考えます。

遊び場としての児童館のあり方の検討

「児童館」について、文化センター内の一部機能としたままで充実させるのか、それとも別の施設に持たせるのか等も含めて、その充実方策について検討が必要であると考えます。これについては多世代が利用する施設である文化センターを今後どのように活用していくかといった問題があり、時間をかけて別途議論すべき課題であると考えます。

参考意見

(H委員)

学童クラブと児童館が離れているために、学童クラブ利用児童と一般児童との交流が絶たれてしまい、児童館が活性化していない傾向がある。

(I委員)

夕方以降や土日祝日の遊び場として文化センターを利用した居場所づくりが重要。相談員を配置して子どもの相談を受ける。

(L委員)

児童館としての文化センター(図書館を含む。)を子どもの視点に立ってどう魅力的にしていくか見直すことが課題である。また、高齢者とのふれあいや学びをうまく行えるとよりよい。他市の児童館を参考にしたり、子どもの意見を取り入れられないか。児童厚生員の常勤が必要。

既存の施設を利用した地域の遊び場づくり

子どもが自由闊達に遊べるだけでなく、様々な体験ができ、子ども同士の交流や自主的な活動ができるような遊び場が求められます。

地域の施設が有効に活用され、遊び場として機能するように、利用規制を緩和して利用しやすくするとともに、その遊び場が魅力的なものとなるように子どもたちの意見を取り入れながら整備をしていくことが重要であると考えます。

さらに、地域住民の力を借りながら、公園の管理、安全対策に努めることや、屋外で子どもが自ら遊びを創出することを手助けするような環境づくりを行うことが必要であると考えます。

また、保護者が遊び方を知らないために、子どもに遊びを伝承できず、子どもも遊びを自ら創出できていない状況があるのではないかという意見があります。

遊び場を有効に生かしていくためには、「場所」としての遊び場を整備するだけでなく、その「場所」を生かした遊びの開発や、遊びを教える人材が必要であると考えます。そのため、行政の職員だけでなく、NPO、ボランティアなどから幅広く人材の発掘、育成を行うべきであると考えます。

子どもの遊び場は行政が用意すべきものではなく、むしろ住民が地域の受け皿を作っていくべきものとも言えます。地域に既にあるスポーツクラブ等の団体や、地域住民の力を借りることも必要であり、地域ぐるみで子どもの遊び場を創出していくことが求められます。

参考意見

(A委員)

学校の校庭、公園、スポーツ施設等の利用規制の緩和・管理委託

市のマンパワー(市立保育所の民営化に伴う保育士等)やNPO、ボランティアなどを活用した遊びを教える人材の養成

地域における「子どもの居場所」(個人的に実施されているものを含む)の発掘、紹介、育成

(E委員)

商店街の空き店舗活用、自宅開放、自治会館などを利用して、地域住民の交流の場を生活に密着した場所に広げ、そこを「子どもの居場所」としても使用する。自治会の活性化、子どもたち同士の輪の広がり、子どもたちが考えた遊びの伝承の場などにも利用できる。高齢者の生きがいの場の提供にもなりうる。

(J委員)

学童クラブに入らない子どもたちが遊ぶ場として従来どおり学校の校庭開放を続ける。できれば安全を確保し、適切な遊びを指導できる指導員を配置する。

親が安心して子どもを遊びに出せるように、地域住民の協力のもとで「緊急避難の家」のPR や仕組みの充実を図るなど、地域における子どもの安全確保のための対策を立てる。犯罪が発生した場合等についても、その情報が速やかに学校や保護者に伝達されるように、犯罪情報の伝達方法についても検討が必要である。

(L委員)

小学校の放課後若しくは土日の空き教室や体育館の利用の検討。子どもの意見を取り入れながら、学習や工作、囲碁将棋やトランプなどのゲーム、卓球、トランポリンなどが気軽にできるような場をつくる。

既存の施設を利用した中高生の居場所づくり

府中市には、中学生・高校生の専用の居場所として位置付けられている施設等はありません。しかし、中高生は心身共に成長が著しい時期であり、その内面には様々なパワーと葛藤があると考えられ、そういった状態をうまく昇華していけるような場を用意することが必要であると考えます。

中高生が自分たちで考え、仲間同士で話ができ、やりたいことが自主活動としてできるような場を、既存の施設を利用して整備していく必要があると考えます。具体的な機能としては、スポーツや音楽活動、子ども同士で懇談ができる場などがあることが望ましいといえます。

参考意見

(L委員)

既存の施設で、サークル活動や自主活動などができる場を探して検討する。音楽スタジオやアトリエ、スポーツ、懇談のできる場の提供。

設備の整った施設が無理な場合は、文化センターの夕方から 8 時くらいまでの時間で自習室やたまり場的スポットを設ける。

中高生が自分たちのために考え、やりたいことができるような環境を自分たちでつくっていくような方向で検討する。

子どもが悩み等を相談しやすい体制づくり

子どもが悩みや将来についての不安等について気軽に相談したり、子どもが自身だけでは判断できない問題が生じた場合に相談したりできるように、前述のような居場所には指導員等の専門職員を配置することが望ましいと考えます。

加えて、直接電話等で相談できる体制も従前の仕組みを活用しながら充実していくべきと考えます。

市民意向調査の自由回答の記述(抜粋・要約):小学生以上の子どもの居場所

雨の日にも遊べる場が必要。文化センターとは別に、児童館をつくってもらいたい。

雨の日は子どもが友達を家に呼んだりするが、私の不在時、万が一怪我などをされては困るので、雨でも遊べる場所が欲しいと思う。雨天の時ものびのび遊べるような室内型の施設が欲しい。

子どもたちがスポーツできるようなスペースを設けてほしい。

公園でサッカー、野球などができるようにしてほしい(現在はボール遊び禁止)。

整備の行き届いた公園よりも、空き地的要素(土や草木、畑など)のある場所があると良い。

自然の中で遊べる事がほとんどないので、多摩川や公園を利用してキャンプや木のぼりなどをするプログラムを企画してほしい。

遊具が少ないので、ブランコや鉄棒など増えるといいと思う。

遊具が壊れているのになかなか修理してもらえない。

サッカーやキャッチボールができるような場所が無い。公園に金網で囲った専用の場所があると良い。

近所に子どもがいないため、ただ大きな広い公園で1人で遊ばせているような感覚です。もう少し、子どもたち同士が遊べるといいなと感じています。